



**目下、研究に専念。  
こんなにも  
楽しいことはない  
ありません。**

前東京大学総長——平野龍一さん



東京大学総長に御在職中は多忙を極めておられました平野龍一先生に、最近のことをお尋ねしました。

総長をおやめになってから、どうしていらっしゃるか、国の諮問機関等でお名前を拝見しますが、特に関心の強いものは、とか、また秋の五高開校百周年記念祭には帰熊なさいますかと、お伺いしましたところ、次のような御返事を頂きました。

総長をやめてもう二年あまりになりますが、東大の中央図書館に研究室をもらいましたので、毎日そこで読書をしたり、ときには講演などをしたりして、楽しく暮らしています。大学の最後の十年あまりは、いろいろな形で大学の行政に関係し、時間の上でも気持の上でも中途半端でしたので、いまは他の仕事はなるべく引き受けず、研究に専念しています。こんなに楽しいことはありません。ただ昨年から、精神衛生法の改正に少し関与することになり、精神医療について勉強しました。日本の精神医療に対しては、現在外国からの批判

熊本市坪井の平野氏生家  
(2軒とも、洋館はすでに壊されている。)



も強いのですが、いろいろと難しい問題があることを痛感させられました。

昨年から東京江原会会長の三善信一さんのお誘いで、会のお手伝いをしています。この春の総会には、五百人近くの方々が出席され、たいへん盛会でした。若い方々も各方面で活躍しておられるようです。

秋の五高百周年記念行事の時には、熊本に帰るつもりです。今度が最後かもしれないから久しぶりに帰ってみようという人も、他にも多いようですね、いろいろな人たちに会えることと楽しみにしています。

**編集後記**

▶嬉しいニュースを一つ。  
毎号表紙にさわやかな風を運んでくれる、橘洋子さんの詩。読者の方から「これが楽しみで…」というお便りも届き、喜んでいたり、「6月号の詩に曲をつけてみました。」というお電話。作曲してくださったのは、九州郵政局にお勤めの甲田弘志さんで、曲名も、「風」—阿蘇の野のシンフォニー。11月28日(土)に熊本市の産業文化会館大ホールで開かれる演奏会で発表の予定とのこと。その日を今から首を長くして待っています。

▶おかえりなさい。そしておめでとう。  
柔道の山下泰裕氏が9月7日県庁にいられました。一年間の英国留学からの帰国報告のため、知事を訪ねられたもので、みどり夫人と8月2日に生まれたばかりの長男将太君も一緒です。

将太君は、ライトやフラッシュの中でもスヤスヤ。さすが大物です。体は小さいけれどとても元気。とにかくかわいいのです。熊本弁の「小がったる」という表現がピッタリの赤ちゃんでした。

▶先日、2年前に起きた辛子蓮根によるボツリヌス菌中毒事件が決着。となった旨の記事を読みました。

そのなかで、遺族・患者を代表した方が、「県民のみなさんが一体となって真心のこもった見舞金を下さり、心からお礼を申し上げます。事件は一生忘れることができないが、募金の善意と誠意もまた忘れられないでしょう。」と、述べられていました。原因が県を代表する特産品であっただけに、この言葉には救われた思いがしました。犠牲になられた人たちに改めて心からのおくやみを申し上げます。

**「熊本マダイのストックヤード」オープン。**

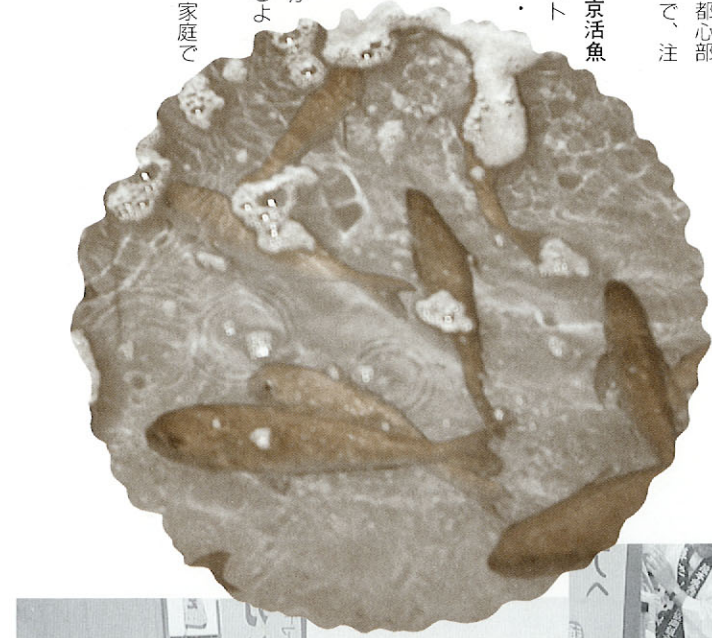
グルメ指向、高級化指向が年々高まっているなか、活魚料理は、東京でも一般的なものになりつつあり、活魚状態での販売が次第に脚光を浴び出しています。

県養殖漁協は養殖マダイのストックヤードを港区港南にオープン。都心部に陸上施設を設けたのは全国初で、注目を集めています。

正式には「熊本県養殖漁協東京活魚センター」といい、十トンと三トンの二基の水槽に、天草から一・二〜一三キログラム程の養殖マダイが週四回、四百五十匹ずつ送られています。

大部分は築地市場に出荷されていますが、最近では噂を聞きつけた周辺の寿司屋さん等が買物かごを手に毎日顔を見せるようになりました。

「東京の平均的サラリーマン家庭で



**「熊本情報の発信ステーション」**

——「銀座熊本館」。

今年3月16日のオープン以来、県内各地域の企業、グループが、ここを舞台にさまざまなイベントを繰り広げています。



銀座熊本館のご利用申し込み、お問い合わせは——

- 熊本県東京事務所広報経済課  
〒104 東京都中央区銀座5丁目3-16 ☎03(572)5022
- 熊本県総務部広報課  
〒862 熊本市水前寺6丁目18-1 ☎096(383)1111

**熊本銀座5丁目**



**「五高開校百周年記念・東京展」開かる。**

十月十日熊本市で行われる五高開校百周年記念祭にさきがけて、銀座熊本館で九月九日から五日間、東京展が、主催の東京五高会に、熊本からも同窓会長等が参加して開催されました。

展示品には、故佐藤首相のノーベル平和賞、勝海舟書「入神致用」、故池田首相寄贈の大太鼓等多くの資料のほか、二十三年前の政権交代時の、後継者に故佐藤氏を推せんした故池田首相の直筆裁定文が話題をよんでいました。

